



海田町



アクセス

- JR山陽線・呉線で海田市駅下車
広島駅より約10分。西条駅より約30分。
呉駅より約40分。
- 広島電鉄バス・芸陽バス
海田方面行き 広島バスセンターより約30分。

ガイドマップに関する問い合わせ先

海田町企画課 広島県安芸郡海田町南昭和14番17号
TEL 082-823-9212 FAX 082-823-9203
ホームページ <https://www.town.kaita.lg.jp/>

海田町の位置図



海田町は広島県の西部、政令指定都市広島市の東側に位置し、南西側は海田湾に面しています。町域の東側は、熊野町と接していますが、それ以外は広島市安芸区に含まれる形となっています。

- ◆ 面積：13.79km²
- ◆ 人口：30,573人(令和5年3月31日)
- ◆ 町章(昭和43年7月制定)



海田町の町章は、KAITAのKを図案化したものです。希望と繁栄を上部へ伸ばし、円で町民の調和(住みよい)を象徴しています。

- ◆ 町木：クスノキ(昭和61年9月制定)



大地にしっかりと根をおろし、大きな枝を広げたクスノキの姿は、雄々しく、どんな苦勞も受け止める風格があります。クスノキは、町民に安らぎを与え、海田町を象徴する木です。海田観音免のクスノキは広島県天然記念物に指定されています。

- ◆ 町花：ヒマワリ(昭和61年9月制定)



夏の日ざしの中で、太陽に向かって伸びるヒマワリの姿は、どんな困難にも負けず、明るく、健康でたくましいものです。ヒマワリは夢と希望を秘めて発展する海田町を象徴する花です。

ヒマワリマーク(平成元年7月制定)

第5次海田町総合計画 (2021~2030)

海田町が目指す都市像

ひと・まち・みらいをつなぐ
暮らしやすさが実感できるまち
かいた
~みんなの力を合わせてつくる リバブルシティ~

ひと・まち・みらいをつなぐ

暮らしやすさが実感できる

社会福祉、都市機能、生活基盤などの質を高めていくことで、海田町に対して誇りや愛着をもって住み続けることができるよう、より一層の安全・安心を確保し、自然環境との調和を取りながら、「ひとの持つ力」と「まちの持つ力」を繋ぎ、磨き上げていくことで、時代の潮流を見定めながら「来たるみらい」に対応できる住みやすい、まちづくりを推進していきます。

交通の要衝としての利便性・快適性を生かし、多様な交流から町内外の人が海田町のことをより一層知ることにより、海田町に住みたい・住み続けたいと思ってもらえるような、「暮らしやすさが実感」できるまちを目指します。



◆ 町花ひまわりPRキャラクター：ヒマ太君

海田町の町花「ひまわり」をモチーフにしたキャラクター。夢と希望を秘めて発展する海田町を象徴する花の化身として生まれました。

まちづくりの視点

第5次海田町総合計画の策定にあたり、現在の状況や時代背景から、特に重要な視点を5つ設定します。5つの視点を踏まえ、まちづくりの方向性などを設定します。

1 ライフステージに応じた必要な支援

子どもや若者から高齢者まで、全ての人に活躍の場があり、元気に安心して暮らすことのできる社会の実現



2 次代を担う人材の育成



住民一人ひとりが、夢や希望の実現に向けてチャレンジできる、いきいきと充実した生活の実現

3 災害復旧復興・インフラ強化の推進と防災・減災体制の強化



地域特性を踏まえた防災対策の強化や地域防災力の向上の推進

4 多様な魅力による集客とまちの活性化



多様な魅力を生かし、町外から多くの人を集める取組の実施

5 持続可能な都市基盤の整備



災害リスクの低減や生活環境の改善、移動時間の短縮等住みやすい都市基盤の整備

目指す都市像を実現するための施策の大綱

- 1 子どもの健やかな育ちを支えるまちづくり
「かいた版ネウボラ」を中心とした妊娠期からの切れ目ない子育て支援の充実、学校教育の充実、子どもが健やかに育つ環境の整備に取り組みます。
- 2 災害に強く安全なまちづくり
災害の防止、災害対応の充実、暮らしの安全の確保に取り組みます。
- 3 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり
計画的な土地利用の推進、都市基盤の整備、快適な交通網の形成、快適な生活環境の整備、持続可能な上下水道の運営に取り組みます。
- 4 健康で安心して暮らせるまちづくり
住民一人ひとりや地域の多様な主体が、共に支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉や健康づくりの推進に取り組みます。
- 5 誰もが輝くまちづくり
生涯学習の推進、歴史文化の継承、芸術文化・スポーツの振興、人権尊重と男女共同参画社会の形成、多文化共生社会の形成に取り組みます。
- 6 環境にやさしいまちづくり
自然と人の共生に向け、地球温暖化対策の推進、環境保全と循環型社会の形成、自然に親しむ環境の整備に取り組みます。
- 7 にぎわいと交流のまちづくり
町内の様々な地域資源をさらに磨き上げ、魅力を発信することで、関係人口の増加を図るとともに、地域活動の活性化を積極的に支援します。

海田町名誉町民

加藤 陽三氏 (1910~1989)



日本の平和と安全のための基礎づくりに貢献するとともに、本町の旧軍用地(進駐軍接収用地)の日本政府への返還を実現させ、その地に企業を誘致することにより、今日の海田町繁栄の基礎をつくる。また海田西小学校の建設に際しての自衛隊幹部宿舎の移転、本町治水の要である尾崎川排水施設新設事業などに取り組み郷土づくりの先駆者として大きく貢献。

織田 幹雄氏 (1905~1998)



1928年8月2日、オランダ・アムステルダムで開催された第9回オリンピック・三段跳において、15m21cmの記録で、日本人初のオリンピック金メダルを獲得。1931年には、15m58cmの記録で世界記録を達成。戦後は、JOC委員、第18回東京オリンピック陸上日本代表総監督などを歴任。1976年には、IOCから功労賞を授与されるなど、世界的な陸上競技の発展に貢献。

お祭り イベント 盛りだくさん

かいた七夕さん
毎年7月上旬の土曜日に行われます。すたれつつある七夕の行事復活と新しい文化の創造をテーマに瀬野川河川敷はゆかたを着た人たちにでぎわいます。

西国街道・海田市ガイドツアー
「西国街道・海田市ガイドの会」による、西国街道かいわいの歴史資源をめぐるツアー。

日浦山登山ガイド
「海田里山ガイドの会」の案内のもと、標高約346mの「日浦山」に登ります。

瀬野川健康ウォーキング
きれいに整備された瀬野川ウォーキングコースを、秋の風を感じながら歩きます。

海田市祭り
海田住民活動ネットワークの皆さんによるイベント。

出崎森神社 / 火ともしまつり 海田町無形民俗文化財
10月中旬、出崎森神社の秋祭り前夜に行われます。出崎森神社が筑前の宗像神社より勧請されたとき、人々がたいまつをともし船を出迎え導いたことから始まったと伝えられています。